

【短い文で解答を書く（一文一義で書く）】

短い文で解答を書くことで解答が明確に伝わります。簡潔でスリムな内容で解答を書くからです。短い文で解答を書く方法として「一文一義で書く」について解説します。

1. 短い文で解答を書く（一文一義で書く）

「一文一義で書く」とは、一文の中に1つのこと（事柄）だけを書くことです。以下の文を読んでください。

I：高度成長期に集中して建設された多くの橋梁やトンネルの老朽化が急速に進んでいるが、これらの構造物の多くを管理している地方自治体では、技術、資金、人材不足でこれらの老朽化対策が進んでいない。

Iの文は2つのこと（事柄）が一文の中に書いてあります。2つのこととは以下の2つの内容です。

- ①橋梁やトンネルの老朽化が急速に進んでいること
- ②技術、資金、人材不足でこれらの老朽化対策が進んでいないこと

Iの文のように書くと内容が明確に伝わりません。文を読んだとき頭の中に2つのことが入ってきますがそのまま抜けていくような感じです。

Iの文を一文一義で書いたのが以下の文です。

II. 高度成長期に集中して建設された多くの橋梁やトンネルの老朽化が急速に進んでいる。しかし、これらの構造物の多くを管理している地方自治体では、技術、資金、人材不足でこれらの老朽化対策が進んでいない。

一文一義で書くと解答が明確に伝わります。2つの文がそれぞれ別々に頭の中に入ってくるからです。

2. 一文一義で書くこと

一文一義で書くことは、「1分で理解できる解答」の書き方^{注)}を使って解答を書くときに有効な書き方です。

注) : 「“1分で理解できる解答”の書き方」の内容については、弊社のウェブサイトの「“1分で理解できる解答”の書き方」を参照してください。

「“1分で理解できる解答”の書き方」とは、「**解答の要点と解答の要点の説明（要点の説明）を考え、解答の要点を解答の冒頭に書き、この要点の説明をその後に書くこと**」です。

例えば、「DX 推進上の課題を1つ述べよ」という問題があったとします。この問題に対して以下のような解答を書いたとします。

労働人口が減少していること、DXに必要な人材需要の伸びに供給が追いつかないこと、非IT企業にIT人材が少なく育成も怠ってきたことを考えるとDX推進の課題はDX推進に関わる人材不足である。

この解答は明確に伝わりません。解答を読んだとき頭の中に2つのことが入ってきますがそのまま抜けていくような感じです。**解答の要点と要点の説明が一文の中に書いてあるからです**（以下参照）。

◆解答の要点：DX推進の課題はDX推進に関わる人材不足である。

◆要点の説明：労働人口が減少していること、DXに必要な人材需要の伸びに供給が追いつかないこと、非IT企業にIT人材が少なく育成も怠ってきたこと

解答の要点と要点の説明が別々のこと（事柄）と考えると一文一義の考え方で解答を書くことができます。一文一義の考え方で解答を書く以下ようになります。

DX推進の課題はDX推進に関わる人材不足である。労働人口が減少していること、DXに必要な人材需要の伸びに供給が追いつかないこと、非IT企業にIT人材が少なく育成も怠ってきたことなどがこの原因である。

一文一義の考え方で解答を書くと**解答が明確に伝わります。一文一義の考え方で解答を書くことで解答の要点と要点の説明が別々に頭の中に入ってくるからです。**

以 上